

# 令和 7 年 9 月市議会定例会

## 企画管理部

### 議案説明資料

#### 目 次

##### 【予算案件】

- |   |                            |       |     |
|---|----------------------------|-------|-----|
| 1 | 令和 7 年 9 月企画管理部補正予算（案）総括表  | ..... | 1 頁 |
| 2 | 富山市まち・ひと・しごと創生推進基金への積立について | ..... | 2 頁 |
| 3 | 基幹業務システム標準化関連システム改修等について   | ..... | 3 頁 |

##### 【その他の議決案件】

- |   |                |       |     |
|---|----------------|-------|-----|
| 4 | 財産の無償貸付について    | ..... | 4 頁 |
| 5 | 富山市名誉市民の推挙について | ..... | 5 頁 |

# 1 令和7年9月 企画管理部補正予算（案）総括表

【一般会計】

（単位：千円）

区分 予算科目(款・項)	補正前の額	今回補正額	補正後の額	備考
企 画 管 理 部 合 計	12,450,928	163,293	12,614,221	
(款2)総務費	12,450,928	163,293	12,614,221	
(項1)総務管理費	3,499,879	0	3,499,879	
(項2)企画費	8,691,518	163,293	8,854,811	まち・ひと・しごと創生推進 基金費 20,000 情報管理事務費 143,293
(項7)統計調査費	246,651	0	246,651	
(項8)監査委員費	12,880	0	12,880	

【まち・ひと・しごと創生推進基金費】

## 2 富山市まち・ひと・しごと創生推進基金への積立について

[企画調整課]

(1) 補正額 20,000千円

〔 財源内訳 寄附金 20,000千円  
(まち・ひと・しごと創生推進基金費寄附金) 〕

### (2) 事業目的

「企業版ふるさと納税」制度の活用による企業からの寄附金を、今後の地方創生に資する事業に充当するため基金に積み立てるもの。

### (3) 富山市まち・ひと・しごと創生推進基金の状況

令和6年度末 現在高  A	令和7年度			
	基金運用益 積立額  B	今回補正 積立額 企画調整課分 C	今回補正 積立額 スポーツ健康課分 D	令和7年度末 現在高見込  A+B+C+D
70,239,401 円	653,000 円	20,000,000 円	1,000,000 円	91,892,401 円

## 【情報管理事務費】

### 3 基幹業務システム標準化関連システム改修等について

[情報システム課]

(1) 補正額 143,293千円

財源内訳	雑入	43,293千円
	(デジタル基盤改革支援補助金)	
	一般財源	100,000千円

#### (2) 事業目的

現在、基幹業務システム標準化の対象とされている20の基幹業務について、国が示す全国共通の標準仕様に準拠した新たなシステムへの移行を進めている。

一方で、現行の基幹業務を担う「富山市総合行政情報システム」が開発中止となり、更新も延命もできなくなったことから、現行の総合行政情報システム上で稼働している、各種関連システムの新環境への移行や再構築、また、現行の基幹業務システムと連携している各種関連システムのデータ連携の変更など、標準化対象外の関連システムにおいて実施すべき対応を進めるもの。

#### (3) 事業内容

ア 現行の総合行政情報システム上で稼働している、各種関連システムの新環境への移行・再構築等 委託料 100,000千円

イ 現行の基幹業務システムと連携している、各種関連システムにおけるデータ連携変更 委託料 43,293千円

## 【その他の議決案件】

### 4 財産の無償貸付について

[行政経営課]

#### (1) 趣旨

旧檜尾小学校について、富山市官民連携提案制度に基づき選定した事業者に無償貸付するもの。

#### (2) 無償貸付する財産の概要

ア 名 称 (旧)檜尾小学校  
イ 所在地 富山市八尾町小長谷 3 4 9 番地  
ウ 土 地 登記面積合計 6, 0 4 4 . 0 0 m<sup>2</sup>  
エ 建 物 鉄筋コンクリート造 2 階建  
床面積 3, 0 3 8 . 4 4 m<sup>2</sup>  
オ 施 設 プール、その他事業用設備

#### (3) 経緯

令和 6 年 3 月に閉校した旧檜尾小学校について、富山市官民連携提案制度に基づき利活用の提案を募集した結果、一般財団法人とやまハッピースクールから、小学 1 年生から中学 3 年生までを対象としたオルタナティブスクールとして利活用するとの提案があった。

当該財産をオルタナティブスクールとして利活用することは、不登校児童・生徒の受け皿となることに加え、こどもの居場所の確保、移住促進、関係人口の増加、さらには地域資源を生かした交流機会の創出や地域の活性化に寄与するという観点から、無償貸付を行うこととしたもの。

#### (4) 貸付の相手方

富山市才覚寺 6 2 5 番地  
一般財団法人とやまハッピースクール 代表理事 永谷 真弓

#### (5) 無償貸付の期間

令和 7 年 1 0 月 1 日から令和 1 3 年 3 月 3 1 日まで

## 【その他の議決案件】

### 5 富山市名誉市民の推挙について

[秘書課]

#### (1) 富山市名誉市民に推挙する者

氏 名 森 雅 志

#### (2) 推挙理由

氏は平成14年1月、合併前の旧富山市長に就任後、強力なリーダーシップのもと、平成17年4月の1市4町2村の市町村合併による新富山市の誕生に尽力した。

合併後の初代市長に就任した後は、川上から川下までの豊かな自然と多様性に富んだ魅力ある都市にふさわしい一体感の醸成と、それぞれの地域の持つ個性を生かした発展に努めた。

また、人口減少と超高齢社会の到来を見据え、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを政策の基本に据え、雇用や教育、子育て、福祉、医療、環境、文化など、様々な分野の施策に取り組み、総合力の高い持続可能なまちづくりを推進した。

その中でも、全国初の本格的なLRTとなる富山ライトレールの開業や、市内電車の環状線化を実現するとともに、令和2年3月には、コンパクトなまちづくりの一つの到達点ともいえる路面電車南北接続事業を完成させ、国内外に誇るLRTネットワークの形成を実現するなど、5期19年余の間、富山市の発展に多大な功績を残した。

このように、氏は、富山市名誉市民条例に定める広く社会文化の興隆その他公共の福祉に貢献し、その功績が顕著で、市民の尊敬を受けると認められる。

#### (3) 富山市名誉市民推薦委員会

令和7年7月8日、富山市名誉市民推薦委員会に対し、森雅志氏の富山市名誉市民への推薦について諮問したところ、7月18日に富山市名誉市民として推挙するにふさわしい者として全会一致で推薦するとの答申がなされた。

【富山市名誉市民推薦委員会の概要】

会 長 庵 栄伸（富山商工会議所会頭）

副会長 高城 繁（富山市社会福祉協議会会長）

外 委員 7 名

計 9 名

(4) 個人調書

ふりがな	もり まさし	性別	生年月日	年齢
氏 名	森 雅 志	男	昭和 27 年 8 月 13 日	73歳
現 住 所	富山市吉作			
現 職 名	富山大学 客員教授 非常勤講師(工学部担当) 株式会社富山市民プラザ取締役会長			
経 歴	昭和46年 3月 富山県立富山中部高等学校 卒業 昭和51年 3月 中央大学法学部法律学科 卒業 昭和52年11月 司法書士・行政書士事務所 開設 平成 7年 4月 富山県議会議員 平成14年 1月 旧富山市長 平成17年 4月 富山市長			
そ の 他 参 考 事 項	平成22年11月 第54回 交通文化賞 令和 3年11月 富山市表彰 特別表彰 令和 3年11月 富山県功労表彰			

(5) 富山市名誉市民一覧

	推戴年月日	フリガナ 氏名	生年月日 (没年月日)	功 績	備考
1	昭和32年11月3日	ヤマダ ヨシオ 山 田 孝 雄	明治6年5月10日 ～ 昭和33年11月20日	わが国の国語学の権威として学界の発展に貢献し、昭和32年文化勲章を受章。	旧富山市
2	昭和36年3月29日	カダゼ 善太郎 黒 田 善太郎	明治12年2月7日 ～ 昭和41年3月27日	コクヨ(株)の創設者。富山大学の講堂や郷土の学校に多額の寄附をするなど、教育文化の発展に貢献。	旧富山市
3	昭和36年3月29日	ハバ ハル 馬 場 はる	明治19年2月22日 ～ 昭和46年5月20日	亡夫の海運業等の発展に尽くし、旧制富山高校の創設に多額の寄附をするなど、教育事業等の発展に貢献。	旧富山市

	推戴年月日	フリガナ 氏名	生年月日 (没年月日)	功 績	備考
4	昭和40年12月18日	ナカダ セイペイ 中 田 清兵衛	明治9年9月26日 ～ 昭和45年5月26日	(株)北陸銀行の創設者並びに初代頭取。郷土の産業経済と教育文化の振興、発展に貢献。	旧富山市
5	昭和45年3月16日	イムラ コウキ 井 村 荒 喜	明治22年11月3日 ～ 昭和46年5月10日	(株)不二越の創設者。学校や病院を設立するなど、郷土の教育、福祉の発展に貢献。	旧富山市
6	昭和49年5月10日	ウチノ シンジ 内 野 信 次	明治35年9月3日 ～ 昭和53年8月28日	初代町長(S29.4～S49.4)として、大沢野町の礎を築いた。	旧大沢野町
7	昭和54年11月3日	サエキ ムネヨシ 佐 伯 宗 義	明治27年2月28日 ～ 昭和56年8月4日	富山地方鉄道(株)の創設者。県内の交通機関の整備促進や観光開発に尽力。衆議院議員として国政に寄与。	旧富山市
8	昭和54年11月3日	オオシマ フミオ 大 島 文 雄	明治35年4月27日 ～ 平成3年9月5日	国文学の研究、殊に万葉集の研究に大きな足跡を残すとともに、県内諸学校の校歌を数多く作詞し、青少年の情操涵養に貢献。	旧富山市
9	昭和59年12月24日	トネガワ ススム 利根川 進	昭和14年9月5日 ～	大沢野町に在住(S22.2～S27.7)。昭和58年文化功労者顕彰、翌年文化勲章を受章。その後、昭和62年にノーベル生理学・医学賞を受賞。	旧大沢野町
10	昭和60年11月9日	カガミ ケイチ 河 上 喜 一	明治31年11月19日 ～ 平成13年12月5日	助役、町議会議員、監査委員等を歴任。善行児童生徒表彰基金や社会福祉センター施設基金に寄附をし、町の発展に貢献。	旧婦中町
11	平成3年2月24日	アサ ゲンゾウ 浅 名 源 重	大正10年12月17日 ～ 平成10年5月15日	昭和33年から8期32年間村長を務め、過疎脱却、活力ある村づくりに貢献。	旧山田村
12	平成15年3月2日	タカ コウイチ 田 中 耕 一	昭和34年8月3日 ～	平成14年に文化勲章、ノーベル化学賞を受賞。43歳という若さでの受賞であり、日本企業の技術者としては初の快挙。	旧富山市
13	平成27年7月12日	ナカオ テツオ 中 尾 哲 雄	昭和11年4月2日 ～	(株)インテックの役職員として情報通信技術の進展に尽力するとともに、富山経済同友会の課外授業講師派遣制度を創設するなど、教育普及活動及び青少年の健全育成に貢献。	富山市
14	平成28年2月28日	カヅタ タカキ 梶 田 隆 章	昭和34年3月9日 ～	平成27年にノーベル物理学賞を受賞。同年文化功労者顕彰、文化勲章を受章。平成9年に自宅を富山市に構える。	富山市
15	平成31年3月23日	ホンジョ タク 本 庶 佑	昭和17年1月27日 ～	幼少期を富山市で過ごす。平成25年に文化勲章を受章。その後、平成30年にノーベル生理学・医学賞を受賞。	富山市